

日本語語彙テストの開発と信頼性

——中国語を母語とする日本語学習者のデータによるテスト評価——

宮岡 弥生*・玉岡賀津雄**・酒井 弘***

1. はじめに

外国語学習者の語学力を測定するために、さまざまなテストが開発されている。その形式は、○×法や多肢選択法などを含む客観的テストと、作文や会話に代表される主観的テストの2つに大きく分けられる。これらのテストが備えるべき条件として石田(1992)は、(1)評価目標を的確にはかっているか-妥当性、(2)結果は信頼できるか-信頼性、(3)問題は評価すべき要素をすべて含んでいるか-問題の包括性、(4)簡単に実施できるか-実施容易性、(5)客観的な採点ができるか-採点の客観性、(6)採点は簡単か-採点の容易性、(7)結果の解釈は簡単か-解釈の容易性、(8)結果は簡単に利用できるか-利用の容易性、(9)費用はかからないか-経済性、の9つを挙げている。さらに、これらの条件の中でも評価の測定用具として最も重要なのは、妥当性と信頼性であるとしている(石田, 1992)。石田(1992)の指摘するように、テストは「妥当性」と「信頼性」が最も重要であり、「問題の包括性」を欠くテストはテストとは言えない。これらに加えて、現実問題として、「実施容易性」も結果に大きく影響すると考えられるため、重要であろう。テストの所要時間が長くなると、受験者の疲労の度合いが増し、結果の妥当性と信頼性にも影響する。そのため、できる限り少ない設問数で、高い信頼性

を実現できるようなテストが望ましい。さらに、テストを構成する項目をいくつかの要因に分けて統制しておくこと、結果の分析を詳細に行うことができる。そこで本稿では、設問をいくつかの要因で多面的に統制して作成した語彙テストの妥当性と信頼性について検討する。

2. 語彙テスト

2.1 設問の構成

作成した語彙テストは、実験や調査の被験者および被調査者を、日本語能力を指標としてグループ分けする際の一つの目安とするために用いるものである。したがって、他の実験や調査に付随して行われることが前提となっており、語彙テストのみに長い時間を費やすことができないという最大の制約がある。さらに、被験者および被調査者を日本語能力別にグループ分けする際の指標とするため、初級から上級までのさまざまなレベルの日本語学習者の語彙力を、1つの同じテストで測定しなくてはならない。このような条件の下で高い弁別力を実現するた

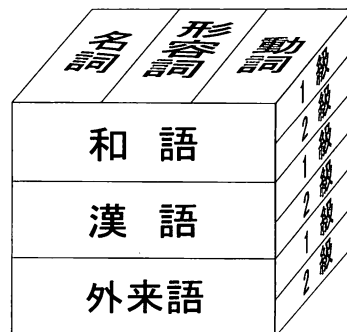


図1 語彙テストの設問構成モデル

* 広島経済大学経済学部教授

** 名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授

*** 広島大学大学院教育学研究科教授

めには、設問の特性を多面的に統制する必要がある。

本語彙テストでは、語彙の特性を3つの観点から捉えて設問を統制した。第1の特性は語種で、和語、漢語、外来語の3種類、第2の特性は品詞で、名詞、形容詞、動詞の3種類、第3の特性は日本語能力試験配当級（旧日本語能力試験用、国際交流基金、2002）で、1級または2級の2種類である。これらの語種、品詞、日本語能力試験配当級の3つの特性を1つの語彙テストに反映させた。語彙テストの設問構成モデルは、図1に示した通りである。さらに、機能語という分類を設定した。機能語とは、文法的な役割を果たすが、形態素変化をもたない語である。これは、独立した分類として設定し、配当級のみで統制した。

具体的な問題文と選択肢は、表1に示した。また、実際に用いた語彙テストは、補記として本稿の最後に示した。表1の問題番号は、この語彙テストの問題番号のことである。

語彙テストの設問を語種の観点から見ると、和語が12問、漢語が12問、外来語が12問の計36問で、これに機能語の12問を加えて48問となる。一方、品詞の観点からみると、動詞が12問、形容詞が12問、名詞が12問で、同様に機能語12問を加えると48問である。さらに、各語種または各品詞について、日本語能力試験配当級の1級と2級が同数の24問ずつになるように構成した。したがって、図1に示したように、語種、品詞、配当級のどの特性から見ても、同数の問題数になり、特性に偏りはない。なお、機能語は語種および品詞の両方に分類できる。以上のように設問に統制が施されているため、語彙テストを実施した後で設問ごとの正誤を表1の分類に従って並べ替え、結果を下位分類で分析することができる。

2.2 設問文の作成

語彙テストは、短い設問文中の空所に入れる語としてもっとも適切なものを、4つの選択肢の中から1つ選ぶという四者択一形式とした（補記および表5参照）。語彙テストを作成するにあたって、以下の点に留意した。

- ①日本独特の事物を表すことばは、文化的な知識も必要とするため、設問文中には含まない。
- ②副詞には、様態の副詞だけでなく陳述の副詞もあるため、語彙テストでは副詞は取り扱わない。
- ③擬態語・擬音語は対象から外す。
- ④設問文中および選択肢の語句や文型は、出来る限り日本語能力試験出題基準の1級から4級までの範囲内とする。
- ⑤漢語の正答の語彙は中国語の語彙として存在しないものとし、錯乱肢には中国語の語彙として存在するものと存在しないものの両方が含まれるようにする。中国語の語彙として存在するかどうかは、中国語辞典（倉石、1963）に掲載されているかどうかを基準とする。
- ⑥漢語の名詞は、日本語において名詞としてしか使用しない漢字二字熟語とする。つまり、動詞の「する」を付加することによって動詞となる漢字二字熟語は除外する。
- ⑦漢語の動詞の錯乱肢が中国語の語彙として存在するかどうかは、「する」をとった二字熟語が中国語として存在するかどうかで判断する。（例えば、「上級する」は動詞としては存在しないが、「上級」は存在する。）
- ⑧日本語の漢語と同等の簡体字が中国語に存在するものは、中国語に語彙としてまたは漢字として存在すると判断する。

表1 語彙テストの語種および品詞別の問題文と正解

語種	品詞/表現	級	正解	問題番号	問題文
和語	名詞	1	てっぺん	17	あの山の()に家があるのが見えますか。
		1	ずれ	33	あの二人の間には、意見の()がある。
		2	あらすじ	39	この物語の()を簡単に説明してください。
		2	さかさま	43	この風景画は地面が上にきていて、上下が()になっている。
	形容詞	1	ややこしい	25	駅までの道順は(), 口で説明するのは難しいので、地図を描きましょう。
		1	ふさわしい	1	彼のスピーチは、結婚式に()内容の、いいスピーチだった。
		2	あわただしい	47	最近、仕事が忙しくて、()毎日を過ごしている。
		2	でたらめで	16	私が会社の金を盗んだと彼は言ったらしいが、それはまったく(), 私は絶対にそんなことはしていない。
	動詞	1	ほどけて	20	靴のひもが()歩きにくいので、結びなおした。
		1	はかどった	34	友達が手伝ってくれたおかげで、仕事が()。
2		うなずいた	41	私の質問に対して、彼女は「はい」と言うかわりに、小さく()。	
2		ふざけて	2	学校の休憩時間に教室で、()担任の先生のまねをしていたら、その先生が教室に入ってきてびっくりした。	
漢語	名詞	1	愚痴(無)	48	彼女はどんなに大変なときでも、()ひとつ言わずに病人の世話をしている。
		1	不況(無)	7	昨年、日本国内はひどい()のため倒産する会社が多かった。
		2	趣味(無)	15	私の()は、旅行と映画鑑賞です。
	形容詞	2	調子(無)	30	最近疲れ気味だが、今日は体の()がいいので、散歩に出かけるつもりだ。
		1	有望だ(無)	46	この会社の前途は()。
		1	無難だ(無)	9	あの人はすぐに怒り出すから、近づかないほうが()。
		2	立派だ(無)	38	川に落ちた少年を助けるために川に飛び込んだ彼の行為は()。
	動詞	2	大切な(無)	12	人の命ほど()ものはない。
		1	出世して(無)	28	彼は入社してまだ3年目だが、あっという間に(), 今は課長だ。
		1	説得して(無)	4	心配する両親をなんとか(), ようやく留学することができた。
2		注文した(無)	22	昨日は給料日だったので、レストランで一番値段が高い料理を()。	
外来語	名詞	2	見学した(無)	35	小学生たちが、学外授業で裁判所を()。
		1	サイズ	11	この服は()が小さすぎて、私には着られない。
		1	キャリア	23	父は教師として40年の()がある。
		2	トップ	13	マラソンで2位だった選手が1位の選手を追い抜いて、()に立った。
	形容詞	2	ポスター	42	大学の掲示板に、館内禁煙を呼びかける()が貼ってある。
		1	ドライな	32	兄は()性格だから、感情に左右されずいつも合理的に物事を判断する。
		1	ルーズだ	44	あの人はいつも時間に()から、今日も待ち合わせの時間に遅れて来るだろう。
		2	スマートだ	5	太っている私と違って、彼女はとても()から、体にぴったりした服がよく似合う。
	動詞	2	モダンだ	8	あの建物はとてもおしゃれで()。
		1	アップした	26	最近、うちの会社は儲かっているので、今年になって給料がわずかに()。
1		マッサージした	37	ひさしぶりに運動したら、後で足がだるくなかったので、自分で足を()。	
2		ストップした	29	洪水のため、電力の供給が一時的に()。	
機能語	2	スタートした	19	今週の月曜日から新しい新聞小説が()。	
	~ではあるまいし	1	ではあるまいし	18	こども(), 大学生のあなたがひとりで旅行できないわけないでしょう。
	~が早いか	1	さげぶが早い	10	「火事だ」と(), 彼は外へ飛び出して行った。
	~を余儀なくされる	1	余儀なくされた	6	材料費が値上がりしたため、我が社は商品の値上げを()。
	~たところで	1	勉強したところで	14	今から(), 成績の悪い私が大学に合格するのは無理だろう。
	~に至るまで	1	に至るまで	21	あのスーパーでは、食料品から洋服()何でも売っている。
	~を皮切りに	1	皮切りに	27	その歌手は、今日の大阪でのコンサートを(), いつものように全国ツアーに出かける。
	~ないことはない	2	行かないことはない	45	講演会に行きたくはないが、ぜひにと頼まれれば()。
	~からして	2	からして	31	個性的な彼女は、着ているもの()ふつうの人とは少し違う。
	~だけあって	2	だけあって	36	日本に10年もいる(), 彼はとても日本語が上手だ。
	~から~にかけて	2	にかけて	40	昨夜から今朝(), 日本各地で大雪が降った。
	~ざるをえない	2	中止せざるをえない	24	こんなにひどい雨では、試合は()。
	~からといって	2	きらいだからといって	3	()野菜を食べないのは体に良くない。

注：漢語の正解欄の「(無)」は、中国語にこの漢字二字熟語がないことを表す。

- ⑨錯乱肢は、語形の類似したものと、意味の類似したものの両者が含まれるようにする。
- ⑩非語は錯乱肢から除外する。但し、外来語の名詞の「スター」を動詞化した「スターした」のようなものは非語とはみなさず、錯乱肢の中に含める。
- ⑪正解となる和語はすべて、ひらがなで表記するのが一般的である語彙とする。これに合わせて、和語の錯乱肢はすべて、ひらがなで表記する。

以上の基準を設けて設問文および選択肢を作成した。以下に、中国で実施した語彙テストについて述べる。

2.3 語彙テストの実施

2006年5月に、中国の西安外国語大学で日本語を専攻する1年終了時の学生146名（女性124名、男性22名）、2年終了時の学生135名（女性116名、男性19名）の合計281名に対して本語彙テストを実施した。これらの学生は、日本への

留学経験はない。年齢は、最も低かった学生が16歳と4ヶ月、最も高かった学生が26歳と8ヶ月であった。1年終了時の学生の平均年齢は19歳と8カ月で、標準偏差が12カ月であり、2年終了時の学生は20歳と9カ月で標準偏差が1年と2カ月であった。2年終了時の学生の方が1年終了時の学生よりも年齢が有意に高かった[等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 8.217$, $p < .001$]。

2.4 語彙テストの平均、標準偏差および t 検定の結果

本語彙テストは、1問1点の48点満点である。語彙テスト全体と特性による分類ごとの平均、標準偏差および t 検定の結果を表2に示した。本稿の「2.1 設問の構成」で述べたように、語彙テスト全体の満点である48点は、和語12点、漢語12点、外来語12点の語種別の3グループに機能語12点を加えて集計した場合と、名詞12点、動詞12点、形容詞12点の品詞別の3グループに機能語12点を加えた場合、さらに、日本語能力試験配当級が1級のもの24点と2級のもの

表2 語彙テストの平均、標準偏差および t 検定の結果

分類	満点	全体 ($n=281$)		1年生 ($n=146$)		2年生 ($n=135$)		t 検定の結果
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
語彙テスト全体	48	22.56	5.68	19.36	3.74	26.01	5.42	$t(235.48) = 11.88, p < .001^a$
和語	12	3.80	1.96	3.16	1.68	4.48	2.02	$t(261.35) = 5.92, p < .001^a$
漢語	12	6.90	1.83	5.92	1.59	7.96	1.46	$t(279) = 11.18, p < .001$
外来語	12	7.20	2.03	6.45	1.73	8.00	2.04	$t(279) = 6.89, p < .001$
機能語	12	4.66	1.91	3.82	1.54	5.57	1.86	$t(279) = 8.60, p < .001$
名詞	12	6.74	1.80	6.05	1.64	7.48	1.68	$t(279) = 7.19, p < .001$
形容詞	12	5.47	1.88	4.67	1.57	6.33	1.83	$t(279) = 8.154, p < .001$
動詞	12	5.69	1.87	4.82	1.34	6.64	1.91	$t(238.25) = 9.16, p < .001^a$
1級	24	8.69	2.91	7.66	2.17	9.79	3.21	$t(232.98) = 6.46, p < .001^a$
2級	24	13.87	3.61	11.70	2.56	16.22	3.09	$t(279) = 13.42, p < .001$

注：^aは、Leveneの等分散性の検定で有意になったので、等分散性を仮定しない t 検定の結果である。

24点とで集計した場合の3つの観点から見る事ができる。独立したサンプルの t 検定を行った結果、語彙テスト全体では、2年生の方が1年生よりも有意に得点が高かった [等分散性を仮定しない t 検定, $t(235.48) = 11.88, p < .001$]。語種別にみた場合、和語 [等分散性を仮定しない t 検定, $t(261.35) = 5.92, p < .001$]、漢語 [等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 11.18, p < .001$]、外来語 [等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 6.89, p < .001$] のすべてにおいて、1年生よりも2年生のほうが有意に得点が高かった [等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 8.60, p < .001$]。品詞別にみた場合でも、名詞 [等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 7.19, p < .001$]、形容詞 [等分散性を仮定する t 検定, $t(27) = 8.154, p < .001$]、動詞 [等分散性を仮定しない t 検定, $t(238.25) = 9.16, p < .001$] のすべてにおいて、1年生よりも2年生のほうが有意に得点が高かった。さらに、日本語能力試験配当級が1級の問題 [等分散性を仮定しない t 検定, $t(232.98) = 6.46, p < .001$] も2級の問題 [等分散性を仮定する t 検定, $t(279) = 13.42, p < .001$] のいずれも、1年生よりも2年生のほうが有意に得点が高かった。

2.5 信頼性係数 (クロンバックの α 係数)

語彙テスト全体の得点について、テストデータ分析プログラム「Test Data Analysis Program (TDAP) Ver. 2.0」(大友・中村・秋山, 2002) を用いて信頼性係数 (クロンバックの α) を算出した。信頼性とは、そのテストを用いて同一の受験者を測定した場合、どれだけ安定した結果が得られるかを検討するものである (中村, 2002)。信頼性係数には、折半法による信頼性係数 (Split-halves reliability coefficient) や、キューダー・リチャードソン信頼性係数 (Kuder-Richardson reliability coefficient: KR-20,

KR-21) などがあるが、TDAP Ver. 2.0 ではクロンバックの α 係数を採用している。信頼性係数は0.000から+1.000の数値となり、1.000に近ければ近いほど信頼性の高いテストであると解釈できる。2006年に西安で実施した際の本語彙テストの信頼性係数 (クロンバックの α 係数) は0.737であった。どのくらいの信頼性係数があればよいのかについては諸説あるが、中村 (2002) は0.800が1つの目安になるとしている。本語彙テストの2006年調査での信頼性係数は0.737であるため、比較的高い信頼性を有していると言えるであろう。

TDAP Ver. 2.0 では、あくまで想定ではあるが、分析対象となっているテストで用いたのと同レベルの問題をどのくらい追加すれば、信頼性係数が上がるかも算出される。その結果は、表3に示した通りである。本語彙テストは、問題数が48で信頼性係数が0.737であった。仮に信頼性係数を、中村 (2002) が目安としている0.800にしたいのであれば、現在の問題に21問追加して69問にしなくてはならない。0.900の信頼性係数では、154個の問題が必要となる。しかし、あくまでもこれは中国語を母語とする日本語学習者で、特定の大学のカリキュラムに沿って学習した受験者に対して語彙テストを実施し

表3 問題数が増えた場合の信頼性係数の変化

信頼性係数の予測値	問題数の予測値
0.800	69
0.820	78
0.840	90
0.860	105
0.880	126
0.900	154
0.920	197
0.940	269
0.960	412
0.980	841

た場合の数値である。後述するが、同じ設問で構成される語彙テストであっても、異なる大学のカリキュラムで日本語を学習した場合の受験者に対して実施した場合には、信頼性係数が非常に高くなった。したがって、テストの信頼性は、受験者の特性や学習環境によって若干異なってくると考えられる。

3. 語彙テストの項目分析

テストのたびに信頼性係数を検証し、適切度の低い設問を良問と入れ替えることによって、テストの精度はさらに高くなる。そこで次に、各設問の適切度について、項目分析によって算出した「項目困難度」「項目弁別力指数」および「実質選択肢数」をもとに考察する。信頼性係数と同様に、テストデータ分析プログラム「Test Data Analysis Program (TDAP) Ver. 2.0」(大友・中村・秋山, 2002)を用いて項目分析を行った。TDAP分析では、「項目困難度 (item difficulty: DIFF)」「項目弁別力指数 (item discrimination power index: DISC)」および「実質選択肢数 (actual equivalent number of options: AENO)」の3種類の指標が算出される。さらに、これら3種類について「項目困難度適切度 (appropriateness of difficulty: ADIF)」および「項目弁別力適切度 (appropriateness of discrimination power index: ADIS)」「実質選択肢数適切度 (appropriateness of actual equivalent number of options: AAEN)」が計算され、これらを基に標準化された指標である「標準項目困難度適切度 (standard appropriateness of difficulty: SADIF)」「標準項目弁別力適切度 (standard appropriateness of discrimination power index: SADIS)」および「標準実質選択肢数適切度 (standard appropriateness of actual equivalent number of options: SAAEN)」が計算される。標準化された3種類の指標は直接比較が可能である。そして最後にこれら3種類の指

標を合わせて、総合得点としてのテスト問題の良さを決める「項目困難度、項目弁別力、実質選択肢数の標準適切度の合計 (standard appropriateness total: SATOT)」が計算される。本稿では、「項目困難度 (DIFF)」「項目弁別力指数 (DISC)」「実質選択肢数 (AENO)」の3つの指標について説明したのち、これら3つの指標をもとにして算出した「項目困難度、項目弁別力、実質選択肢数の標準適切度の合計 (SATOT)」について考察する。

3.1 項目困難度

項目困難度 (DIFF) は、テスト項目がどのくらい難しかったかを検討するもので、正答率、あるいは通過率とも呼ばれる。項目困難度は0.000から1.000の間の数値をとる(中村, 2002)。項目困難度は、実は正答率であるため、1.000に近ければ近いほど易しい項目、0.000に近ければ近いほど難しい項目になる。中村(2002)は、今回の語彙テストのように選択肢が4つある場合、偶然の正答確率が4分の1であるため、それを加味して最適困難度は0.625 ($0.500 + 0.500 \times 1/4 = 0.625$) であるとしている。表4に示したように、今回の語彙テストで最も項目困難度が低かったのはNo. 27「～を皮切りに」(DIFF: 0.085)と、No. 9「無難だ」(DIFF: 0.085)であった。一方、最も高かったのは、No. 15「趣味」(DIFF: 0.986)であった。最適困難度の0.625に最も近かったのは、設問No. 21「～に至るまで」で、0.633であった。最適困難度の0.625よりも値が大きく設問として簡単であったのは48問中で14問、0.625より値が小さく難問であったものは34問と、全体として今回の受験者にとっては難しい語彙テストであったと言えよう。

3.2 項目弁別力指数

項目弁別力指数 (DISC) とは、あるテスト項

表4 語彙テストの項目別指標

標準適切度の合計 (SATOT)による順位	項目困難度、 項目弁別力、 実質選択肢数の 標準適切度の合計 (SATOT)	問題 番号	語種	品詞/表現	正解	項目 困難度 (DIFF)	項目 弁別力 指数 (DISC)	実質 選択肢数 (AENO)
1	1.927	24	機能語	～ざるをえない	中止せざるをえない	0.431	0.541	3.648
2	1.865	45	機能語	～ないことはない	行かないことはない	0.577	0.460	3.034
3	1.857	39	和語	名詞	あらすじ	0.431	0.520	3.557
4	1.789	3	機能語	～からといって	きらいだからといって	0.516	0.412	3.363
5	1.765	42	外来語	名詞	ポスター	0.680	0.394	2.547
6	1.752	26	外来語	動詞	アップした	0.470	0.407	3.539
7	1.715	22	漢語	動詞	注文した	0.591	0.538	2.217
8	1.710	40	機能語	～から～にかけて	にかけて	0.772	0.396	2.126
9	1.705	47	和語	形容詞	あわただしい	0.416	0.457	3.463
10	1.697	7	漢語	名詞	不況	0.694	0.350	2.450
11	1.696	12	漢語	形容詞	大切な	0.822	0.403	1.905
12	1.679	13	外来語	名詞	トップ	0.772	0.354	2.142
13	1.666	37	外来語	動詞	マッサージした	0.470	0.406	3.270
14	1.629	21	機能語	～に至るまで	に至るまで	0.633	0.159	2.716
15	1.626	25	和語	形容詞	ややこしい	0.359	0.365	3.833
16	1.609	19	外来語	動詞	スタートした	0.719	0.264	2.323
17	1.604	4	漢語	動詞	説得して	0.477	0.289	3.358
18	1.601	44	外来語	形容詞	ルーズだ	0.413	0.294	3.684
19	1.586	8	外来語	形容詞	モダンだ	0.548	0.168	3.075
20	1.574	1	和語	形容詞	ふさわしい	0.338	0.318	3.884
21	1.570	46	漢語	形容詞	有望だ	0.801	0.231	1.998
22	1.547	18	機能語	～ではあるまいし	ではあるまいし	0.434	0.229	3.519
23	1.533	30	漢語	名詞	調子	0.883	0.294	1.590
24	1.529	5	外来語	形容詞	スマートだ	0.851	0.191	1.769
25	1.517	35	漢語	動詞	見学した	0.854	0.265	1.708
26	1.511	34	和語	動詞	はかどる	0.274	0.296	3.948
27	1.471	17	和語	名詞	てっぺん	0.335	0.214	3.752
28	1.465	11	外来語	名詞	サイズ	0.918	0.297	1.397
29	1.454	23	外来語	名詞	キャリア	0.274	0.213	3.913
30	1.422	43	和語	名詞	さかさま	0.356	0.147	3.577
31	1.412	2	和語	動詞	ふざける	0.249	0.230	3.800
32	1.406	6	機能語	～を余儀なくされる	余儀なくされた	0.299	0.173	3.711
33	1.404	36	機能語	～だけあって	だけあって	0.288	0.368	3.293
34	1.388	20	和語	動詞	ほどける	0.253	0.113	3.854
35	1.364	16	和語	形容詞	でたらめな	0.228	0.145	3.798
36	1.356	31	機能語	～からして	からして	0.221	0.171	3.751
37	1.355	29	外来語	動詞	ストップした	0.932	0.055	1.328
38	1.354	15	漢語	名詞	趣味	0.986	0.048	1.086
39	1.339	33	和語	名詞	ずれ	0.246	0.111	3.694
40	1.332	32	外来語	形容詞	ドライな	0.139	0.342	3.400
41	1.299	10	機能語	～が早いか	さげぶが早いか	0.228	0.021	3.630
42	1.265	48	漢語	名詞	愚痴	0.157	0.265	3.348
43	1.205	27	機能語	～を皮切りに	皮切りに	0.085	0.048	3.356
44	1.195	41	和語	動詞	うなづく	0.306	0.099	2.985
45	1.179	38	漢語	形容詞	立派だ	0.448	0.244	2.213
46	1.101	14	機能語	～たところで	勉強したところで	0.171	0.120	2.955
47	1.006	9	漢語	形容詞	無難だ	0.085	0.082	2.689
48	0.968	28	漢語	動詞	出世して	0.100	0.259	2.354

目が、日本語能力の高い受験者と低い受験者を弁別、あるいは識別することができたかどうかを検討する指標である。-1.000から+1.000の範囲で示され、+1.000に近くなればなるほど項目弁別力は高いと判断される(中村, 2002)。項目弁別力がどのくらいあれば適切かについては諸説あるが、本語彙テストのように、受験者グループ全員のデータを用いて算出する「点双列相関係数による項目弁別力指数」を用いた場合には、0.300以上あればよいとする考え方が一般的である(中村, 2002)。本語彙テストでは、項目弁別力指数が0.300以上あった設問は、17問であった。表4に示したように、最も指数が高かったのは、No. 24「～ざるをえない」で、0.541であった。最も指数が低かったのは、No. 10「～が早い」で、0.021であった。

3.3 実質選択肢数

実質選択肢数(AENO)とは、多肢選択形式(multiple choice format)の問題項目で、準備した選択肢が偏りなく選択されているかどうか、準備した選択肢が「実質的」にはいくつ分の選択肢として働いたかを検討するものである(中村, 2002)。実質選択肢数の数値は、0.000から選択肢の数までの数値となる。したがって、選択肢が4つある本研究の語彙テストでは、0.000から4.000までの値となる。本語彙テストでは、実質選択肢数が3.000を超えていた設問が28問あった。最も実質選択肢数が高かったのはNo. 34「はかどる」で、3.948であった。また、実質選択肢数の上位21位までが、漢語以外の和語、外来語、機能語で占められていた。特に、上位10位までのうち、7問までが和語の問題であった。

3.4 項目困難度、項目弁別力、実質選択肢数の標準適切度の合計(SATOT)

前述のように、「項目困難度(DIFF)」「項目

弁別力指数(DISC)」および「実質選択肢数(AENO)」について「項目困難度適切度(ADIF)」「項目弁別力適切度(ADIS)」「実質選択肢数適切度(AAEN)」が計算され、これらを基に標準化された指標である「標準項目困難度適切度(SADIF)」「標準項目弁別力適切度(SADIS)」「標準実質選択肢数適切度(SAAEN)」が計算される。そしてこれら3種類の指標を合わせて、総合得点としてのテスト問題の良さを決める「項目困難度、項目弁別力、実質選択肢数の標準適切度の合計(SATOT)」が計算される。「項目困難度、項目弁別力、実質選択肢数の標準適切度の合計(SATOT)」は、「項目困難度適切度(ADIF)」「項目弁別力適切度(ADIS)」「実質選択肢数適切度(AAEN)」の合計ではなく、これらを標準化したものの合計である。表4は、SATOTの数値が高い順に並べたものである。

今回最もSATOTが高かったのは、No. 24「～ざるをえない(機能語)」(SATOT=1.927)であった。以下、上位5位までのものは、No. 45の「～ないことはない(機能語)」(SATOT=1.865)、No. 39の「あらずじ(和語・名詞)」(SATOT=1.857)、No. 3「～からといって(機能語)」(SATOT=1.789)、No. 42「ポスター(外来語・名詞)」(SATOT=1.765)であった。これらと、項目困難度適切度(ADIF)、項目弁別力適切度(ADIS)、実質選択肢数適切度(AAEN)(これらの3つの指標は表4に記載なし)の上位5位を照らし合わせてみると、いくつかのものは重なっているが、中にはNo. 34「はかどる(和語・動詞)」(AAEN=0.985)のように、実質選択肢数適切度は3位だが、SATOTは1.511で26位というものもある。SATOTの数値は、設問の妥当性を考察する際の一つの指標とはなるが、各適切度の合計であるという性質上、ある指標では低い数値であっても、別の指標の高い数値と合計されることによって適切な

数値となる場合もある。設問の妥当性を決める際には、SATOTのような包括的な値だけでなく、個々の指標についても詳しく検討する必要があるだろう。

4. 錯乱肢の選択率

テストの信頼性を上げるためには、錯乱肢、つまり、正解以外の選択肢の設定の仕方も重要である。そこで、受験者281名のうち何%が選択したかという選択率をもとに、錯乱肢について語種別に検討する。

4.1 和語に関する設問

語彙テストの正解と錯乱肢の選択率を表5に示した。選択肢は4つであるため、偶然の正答確率は4分の1の25%となる。和語に関する設問の中で、4つの選択肢の選択率がほぼ同じであったのは、No. 34「友達が手伝ってくれたおかげで、仕事が（ ）。」で、正解の「はかどった」が27.4%、錯乱肢の「はかった」が26.0%、「ちぢんだ」が20.3%、「なおった」が24.6%であった。これは、正解の「はかどった」の難易度が高いうえ、3つの錯乱肢と直前の「仕事」が共起する頻度が同程度に低かったことから、誤答の消去法も使えなかったためであると考えられる。

正解の選択率が誤答の選択率を下回っていたのは、No. 33「あの二人の間には、意見の（ ）がある。」(正解:「ずれ」)、No. 16「私が会社の金を盗んだと彼は言ったらしいが、それはまったく（ ）、私は絶対にそんなことはしていない。」(正解:「でたためで」)、No. 20「靴のひもが（ ）歩きにくいので、結びなおした。」(正解:「ほどけて」)、No. 41「私の質問に対して、彼女は「はい」と言うかわりに、小さく（ ）。」(正解:「うなずいた」)、No. 2「学校の休憩時間に教室で、（ ）担任の先生のまねをしていたら、その先生が教室に入って

きてびっくりした。」(正解:「ふざけて」)の5つであった。これら5つのうち、最も選択率の高い錯乱肢が含まれていたのは、No. 41「私の質問に対して、彼女は「はい」と言うかわりに、小さく（ ）。」(正解:「うなずいた」)で、「かたむけた」が51.6%という高さであった。これは、肯定の意味を表す動作が頭を前方の下に傾ける動作であることから、答えを類推した結果であると考えられる。正解のほうが錯乱肢よりも難易度が高かったのが原因であろう。また、No. 33「あの二人の間には、意見の（ ）がある。」(正解:「ずれ」)も、錯乱肢の「すじ」の選択肢が40.2%と高かった。これは、「話の筋」や「話の筋道」といった表現から、「意見の筋」「意見の筋道」という表現もありうるのではないかという類推が働いたためであるとも考えられる。

4.2 漢語に関する設問

漢語に関する設問は、4つの選択肢の選択率がほぼ同じであったものは見られなかった。一方、正解の選択率が誤答の選択率を下回っていたのは、No. 48「彼女はどんなに大変なときでも、（ ）ひとつ言わずに病人の世話をしている。」(正解:「愚痴」)、No. 9「あの人はすぐに怒り出すから、近づかないほうが（ ）。」(正解:「無難だ」)、No. 38「川に落ちた少年を助けるために川に飛び込んだ彼の行為は（ ）。」(正解:「立派だ」)、No. 28「彼は入社してまだ3年目だが、あつという間に（ ）、今は課長だ。」(正解:「出世して」)、の4つであった。特に、No. 28「彼は入社してまだ3年目だが、あつという間に（ ）、今は課長だ。」は、正解「出世して」の選択率が10.0%であるのに対して、錯乱肢の「上昇して」は73.7%と、7倍以上の値であった。また、No. 48「彼女はどんなに大変なときでも、（ ）ひとつ言わずに病人の世話をしている。」も、正解の「愚痴」が

表5 語彙テストの正解と錯乱肢の選択率

語種	品詞/表現	問題番号	正解と選択率 (%)		錯乱肢と選択率 (%)					
			正解	選択率 (%)	1	2	3	4	5	6
和語	名詞	17	てっぺん	33.5	こずえ	21.0	みき	12.8	あたま	32.4
		33	ずれ	24.6	すり	13.9	すきま	19.9	すじ	40.2
		39	あらすじ	43.1	あらし	14.6	みとおし	13.5	みつもり	27.4
		43	さかさま	35.6	つべこべ	32.4	あちこち	21.7	さいさん	8.5
	形容詞	25	ややこしくて	35.9	うっとうしくて	22.1	やむをえなくて	24.9	うらやましくて	16.4
		1	ふさわしい	33.8	おびただしい	22.8	まぎらわしい	20.3	おとなしい	21.4
		47	あわただしい	41.6	あつかましい	20.6	そぞっかしい	28.5	たのもし	7.5
		16	でたらめで	22.8	でこぼこで	14.2	あわれで	26.7	あたりまえで	35.2
	動詞	20	ほどけて	25.3	ほろびて	14.9	やぶれて	27.8	はなれて	30.2
		34	はかどった	27.4	はかった	26.0	ちぢんだ	20.3	なおった	24.6
41		うなずいた	30.6	ふった	9.3	むけた	6.0	かたむけた	51.6	
2		ふざけて	24.9	ふかめて	34.2	なまけて	15.7	つたえて	21.7	
漢語	名詞	48	愚痴(無)	15.7	不評(無)	18.5	苦難(有)	52.3	語句(有)	13.2
		7	不況(無)	69.4	不利(有)	17.8	非行(無)	9.6	反感(有)	3.2
		15	趣味(無)	98.6	良識(無)	0.4	好意(有)	1.1	主観(有)	0.0
		30	調子(無)	88.3	情勢(有)	4.6	都合(無)	6.4	機嫌(無)	0.7
	形容詞	46	有望だ(無)	80.1	有能だ(無)	5.3	器用だ(無)	3.2	得意だ(有)	11.4
		9	無難だ(無)	8.5	無事だ(無)	44.5	平気だ(無)	45.6	平凡だ(有)	1.4
		38	立派だ(無)	44.8	勇気だ(有)	52.7	立法だ(有)	1.1	清潔だ(無)	1.1
		12	大切な(無)	82.2	利口な(無)	10.0	慎重な(有)	3.6	的確な(無)	4.3
	動詞	28	出世して(無)	10.0	上昇して(有)	73.7	出張して(無)	6.4	上級して(有)	9.6
		4	説得して(無)	47.7	説明して(有)	23.1	承知して(無)	21.7	承認して(有)	7.1
22		注文した(無)	59.1	発言した(有)	0.7	発表した(有)	2.1	要請した(無)	38.1	
35		見学した(無)	85.4	観光した(有)	9.6	鑑賞した(有)	1.1	進呈した(無)	3.9	
外来語	名詞	11	サイズ	91.8	サイクル	3.2	カロリー	3.2	カラー	0.7
		23	キャリア	27.4	キャプテン	30.6	ベテラン	19.9	プロ	20.6
		13	トップ	77.2	ナンバー	8.5	レベル	6.0	ワット	6.8
		42	ポスター	68.0	ポスト	16.7	ラベル	8.5	ライター	5.7
	形容詞	32	ドライな	13.9	シックな	17.1	オートマチックな	50.2	ショックな	17.1
		44	ルーズだ	41.3	ルールだ	16.4	フリーだ	24.2	ユニークだ	16.7
		5	スマートだ	85.1	スタイルだ	5.0	モデルだ	6.8	モニターだ	2.8
		8	モダンだ	54.8	モーターだ	14.6	ハンサムだ	6.4	バランスだ	22.8
	動詞	26	アップした	47.0	キャッチした	17.1	オーバーした	14.2	カットした	21.4
		37	マッサージした	47.0	マスターした	17.4	レクリエーションした	27.8	コーチした	6.0
29		ストップした	93.2	コピーした	0.4	コントロールした	5.7	ドライブした	0.7	
19		スタートした	71.9	スターした	6.8	オープンした	17.4	オーケーした	3.6	
機能語	～ではあるまいし	18	ではあるまいし	43.4	にもかかわらず	28.8	とはいえ	13.9	ながらに	12.8
	～が早い	10	さげぶが早い	22.8	さげび次第	29.2	さげぶ最中に	9.6	さげぶうちに	37.0
	～を余儀なくされる	6	余儀なくされた	29.9	余儀なくさせた	32.4	余儀なくした	10.7	余儀なくできた	24.9
	～たところで	14	勉強したところで	17.1	勉強するところで	57.3	勉強したところが	21.0	勉強するところを	4.3
	～に至るまで	21	に至るまで	63.3	に至っては	20.3	にわたって	11.7	にわたる	4.3
	～を皮切りに	27	皮切りに	8.5	きっかけに	46.6	もとに	15.3	契機に	28.5
	～ないことはない	45	行かないことはない	57.7	行くことはない	10.3	行かない	10.3	行ったことはない	20.3
	～からして	31	からして	22.1	にしては	30.2	のわりに	12.5	から言うと	34.9
	～だけあって	36	だけあって	28.8	からには	22.8	だけでなく	4.3	からといって	43.8
	～から～にかけて	40	にかけて	77.2	にあって	12.8	とかけて	5.0	にして	4.6
～ざるをえない	24	中止せざるをえない	43.1	中止しない	13.9	中止するには及ばない	23.5	中止するにすぎない	19.2	
～からといって	3	きらいだからといって	51.6	きらいなくせに	13.5	きらいだといえ	16.4	きらいなだけあって	17.4	

注：漢語の正解欄および錯乱肢欄の「(有)」は中国語にこの漢字二字熟語があることを、「(無)」はないことを表す。

15.7%であるのに対して錯乱肢の「苦難」が52.3%と、正解の方が大きく下回っていた。この高い選択率の2つの錯乱肢に共通しているのは、中国語に日本語と同じ表記の語彙があるという点である。正答の選択において母語の知識が干渉したのだとも考えられる。

また、漢語に関する設問の中には、選択率が0%の錯乱肢が含まれていたものがあった。No. 15「私の（ ）は、旅行と映画鑑賞です。」(正解:「趣味」)で、錯乱肢「主観」の選択率が0%であった。この設問の正解である「趣味」の選択率が98.6%と非常に高かったことも考え合わせると、設問自体が容易に正解を導き出せる簡単なものであった可能性がある。これは、今回の語彙テストの受験者が中国語母語話者であったことが大きく影響しているものと思われる。

4.3 外来語に関する設問

外来語に関する設問の中で、4つの選択肢の選択率が比較的近かったのは、No. 23「父は教師として40年の（ ）がある。」で、正解の「キャリア」が27.4%、錯乱肢の「キャプテン」が30.6%、「ベテラン」が19.9%、「プロ」が

20.6%であった。その他は、正解の選択率の方が錯乱肢よりも低かったものも含めて、最も高い選択率はどの設問も40%以上であった。

正解の選択率が誤答の選択率を下回っていたのは、No. 32「兄は（ ）性格だから、感情に左右されずにいつも合理的に物事を判断する。」で、正解の「ドライな」が13.9%であったのに対して、錯乱肢の「シックな」は17.1%、「オートマチックな」は50.2%、「ショックな」は17.1%という結果であった。これは、設問文中の「感情に左右されずに合理的に」の表現から、錯乱肢の「オートマチックな」のもととなる「automatic」の「自動的に／必然的に」の意味を関連付けて答えを導いたのだと考えられる。英語の知識が影響した結果であろう。この設問以外に正解の選択率が誤答の選択率を下回っていたものはなかった。

4.4 機能語に関する設問

機能語に関する設問の中で、4つの選択肢の選択率すべてが比較的近かったものはなかった。しかし、2つまたは3つの選択肢の選択率が近いものは多かった。

一方、正解の選択率が誤答の選択率を下回っ

表6 語彙テストの平均、標準偏差、分散分析および多重比較の結果(孫・小泉・玉岡・宮岡, 2010より引用)

日本語能力 の分類と 下位カテゴリ	満点	合計(n=251)		1年終了(n=90)		2年終了(n=79)		3年終了(n=82)		分散分析の結果
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
語彙合計 ($\alpha=0.890$)	48	26.25	8.48	18.51	3.25	26.84	5.04	34.20	7.41	$F(2, 248) = 178.084, p < .001$
動詞	12	6.99	2.49	5.00	1.40	7.11	1.72	9.06	2.31	$F(2, 248) = 105.377, p < .001$
形容詞	12	6.04	2.34	4.19	1.15	6.05	1.62	8.07	2.21	$F(2, 248) = 111.935, p < .001$
名詞	12	7.55	2.10	5.84	1.63	8.06	1.54	8.91	1.74	$F(2, 248) = 80.697, p < .001$
機能語	12	5.67	2.75	3.48	1.51	5.61	1.92	8.15	2.38	$F(2, 248) = 122.190, p < .001$
和語	12	5.13	2.98	2.52	1.46	5.54	2.05	7.60	2.68	$F(2, 248) = 127.064, p < .001$
漢語	12	8.02	2.06	6.08	1.29	8.44	1.27	9.73	1.54	$F(2, 248) = 158.015, p < .001$
外来語	12	7.43	2.14	6.43	1.78	7.24	1.75	8.72	2.20	$F(2, 248) = 31.043, p < .001$

注: α は、クロンバックの信頼性係数を示す。

ていたのは、No. 31「個性的な彼女は、着ているもの（ ）ふつうの人とは少し違う。」(正解:「からして」)、No. 36「日本に10年もいる（ ）、彼はとても日本語が上手だ。」(正解:「だけあって」)、No. 10「『火事だ』と（ ）、彼は外へ飛び出して行った。」(正解:「さけぶが早いから」)、No. 6「材料費が値上がりしたため、我が社は商品の値上げを（ ）。」(正解:「余儀なくされた」)、No. 14「今から（ ）、成績の悪い私が大学に合格するのは無理だろう。」(正解:「勉強したところで」)、No. 27「その歌手は、今日の大阪でのコンサートを（ ）、いつものように全国ツアーに出かける。」(正解:「皮切りに」)の6つであった。これは、機能語の設問の半数に上り、正解の選択率が誤答の選択率を下回っていた設問の数は、4種類の語種の中で最多であった。

機能語は、錯乱肢のほうが正解よりも選択率が高い設問が多いが、それらの正解の選択率自体は、No. 31「からして」が22.1%、No. 36「だけあって」が28.8%、No. 10「さけぶが早いから」が22.8%、No. 6「余儀なくされた」が29.9%、No. 14の「勉強したところで」が17.1%、No. 27「皮切りに」が8.5%と、他の語種と比べて特に低いわけではない。これは、機能語の設問自体の難易度が高く、さらに錯乱肢も意味のとりにくい難しいものであったため、絶対に間違いであるものを除いた後の選択肢間で回答が均等に分かれたためであると思われる。

5. 別のグループに対する語彙テスト

本稿の「2.5 信頼性係数(クロンバックの α 係数)」で述べたように、語彙テストの信頼性は受験者によっても若干変動する。本語彙テストは、2006年に西安外国語大学において行った以外に、2008年9月にも中国にある2つの大学で日本語を専攻している学習者251名に対しても実施した(孫・小泉・玉岡・宮岡, 2010)。こ

の2008年調査では、表6に示したように、すべての語彙カテゴリーで学年の主効果が有意であり、学年と共に語彙力が向上していることが分かる。クロンバックの α は0.890であり、2006年調査時の0.737よりも信頼性係数が非常に高くなっていることが分かる。

6. 考察

本稿では、設問をいくつかの要因で多面的に統制して作成した語彙テストを、中国語を母語とする日本語学習者に対して実施し、語彙テストの妥当性と信頼性について検証した。その結果、本語彙テストには以下のような特徴があることが明らかになった。

第1に、信頼性係数が2006年調査では0.737であったのに対して、2008年調査では0.890であった。全く同じ設問で構成される語彙テストであっても、受験者の特性によって異なる信頼性係数が算出された。この結果には、受験者の学年別構成が影響しているものと思われる。2006年調査では、1年終了時生が146名、2年終了時生が135名の、合計281名の受験者であった。3年終了時生は含まれていなかった。一方、2008年調査の受験者は、1年終了時生が90名、2年終了時生が79名、3年終了時生が82名の、合計251名であった。つまり、2008年調査のほうが2006年調査より、日本語能力の高い学習者が含まれていた。実際、2006年調査の平均点は22.56点で、標準偏差が5.68点であった。それに対して、2008年調査の平均点は26.25点で、標準偏差は8.48点であった。このように2008年の調査の方が分散がより大きかった。このことから、本語彙テストは、日本語能力が初級から上級まで幅のある受験者グループに対して実施するのに適したテストであると言えるだろう。

第2に、本語彙テストの2006年調査では、和語の項目困難度が相対的に低かった。項目困難度を見ると、和語のうち最適困難度の0.625を超

えた設問は皆無であった。難易度は日本語能力試験配当級で統制されてはいるものの、本語彙テストを受けた中国語を母語とする日本語学習者にとっては、和語は他のものに比べて難易度が高かったのだと思われる。

第3に、点双列相関係数による項目弁別力指数が基準の0.300を超えたものは17問であった。これは、全設問数の35.4%で、決して高い数値とは言えない。語彙テストを改良する際には、項目弁別力の低いものを、別の設問に差し替える必要があるだろう。

第4に、実質選択肢数が3.000を超えていたものが、全部で48問ある設問のうち28問にも上った。この実質選択肢数の高さが、本研究の語彙テストの信頼性の高さに大きく貢献しているものと考えられる。

本稿は、首都大学東京の萩原裕子教授が研究代表者となっていたプロジェクト「言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究」（平成16年度～平成21

年度、独立行政法人科学技術振興機構（JST）・社会技術研究システム推進室・社会技術研究事業研究領域「脳科学と教育 タイプⅡ」）の助成を受けている。

引用文献

- 石田敏子（1992）『入門 日本語テスト法』大修館書店
倉石武四郎（1963）『岩波中国語辞典 簡体字版』岩波書店
国際交流基金（2002）『日本語能力試験出題基準 [改訂版]』凡人社
中村洋一（2002）『テストで言語能力は測れるか～言語テストデータ分析入門～』桐原書店
孫猛・小泉政利・玉岡賀津雄・宮岡弥生（2010）「第二言語としての『テイル』の習得における語彙・文法能力の役割」『東北大学言語学論集』19, 47-59, 東北大学
- Test Data Analysis Program (TDAP) の履歴
1996 Test Data Analysis Program (TDAP) Ver. 1.0 [MS-DOS, N88-BASIC 版]
©大友賢二・中村洋一（大友賢二1996『項目応答理論入門』大修館書店に添付）
2002 Test Data Analysis Program (TDAP) Ver. 2.0 [Windows 版]
©大友賢二・中村洋一・秋山實（大友賢二監修・

補記

語彙能力

次の文の()に入れることばとして正しいものはどれですか。

4つの中から1つだけえらんで、□に✓を書いて下さい。

- 1 彼のスピーチは、結婚式に()内容の、いいスピーチだった。
 おびたしい ふさわしい
 おとなしい まぎらわしい
- 2 学校の休憩時間に教室で、()担任の先生のまねをしていたら、その先生が教室に入ってきてびっくりした。
 なまけて ふかめて
 つたえて ふざけて
- 3 ()野菜を食べないのは体に良くない。
 きらいなくせに きらいだといえば
 きらいだからといって きらいなだけあって
- 4 心配する両親をなんとか()、ようやく留学することができた。
 説得して 承知して
 承認して 説明して
- 5 太っている私と違って、彼女はとても()から、体にぴったりした服がよく似合う。
 スタイルだ モニターだ
 スマートだ モデルだ
- 6 材料費が値上がりしたため、我が社は商品の値上げを()。
 余儀なくさせた 余儀なくされた
 余儀なくした 余儀なくできた
- 7 昨年、日本国内はひどい()のため倒産する会社が多かった。
 不利 反感
 不況 非行
- 8 あの建物はとてもおしゃれで()。
 モーターだ ハンサムだ
 モダンだ バランスだ
- 9 あの人はすぐに怒り出すから、近づかないほうが()だ。
 平気 平凡
 無事 無難

- 10 「火事だ」と()、彼は外へ飛び出して行った。
 さけび次第 さけぶが早い
 さけぶ最中に さけぶうちに
- 11 この服は()が小さすぎて、私には着られない。
 サイクル カロリー
 サイズ カラー
- 12 人の命ほど()ものはない。
 大切な 利口な
 慎重な 的確な
- 13 マラソンで2位だった選手が1位の選手を追い抜いて、()に立った。
 ナンバー トップ
 レベル ワット
- 14 今から()、成績の悪い私が大学に合格するのは無理だろう。
 勉強したところで 勉強するところで
 勉強したところが 勉強するところを
- 15 私の()は、旅行と映画鑑賞です。
 良識 好意
 主観 趣味
- 16 私が会社の金を盗んだと彼は言ったらしいが、それはまったく()、
私は絶対にそんなことはしていない。
 でこぼこで あわれだ
 あたりまえで でたらめで
- 17 あの山の()に家があるのが見えますか。
 てっぺん みき
 あたま こずえ
- 18 こども()、大学生のあなたがひとりで旅行できないわけないでしょう。
 とはいえ ながらに
 にもかかわらず ではあるまいし
- 19 今週の月曜日から新しい新聞小説が()。
 スターした オープンした
 オーケーした スタートした
- 20 靴のひもが()歩きにくいので、結びなおした。
 ほろびて やぶれて
 はなれて ほどけて

- 21 あのスーパーでは、食料品から洋服()何でも売っている。
 にわたって にわたる
 に至っては に至るまで
- 22 昨日は給料日だったので、レストランで一番値段が高い料理を()。
 発言した 発表した
 注文した 要請した
- 23 父は教師として40年の()がある。
 キャプテン ベテラン
 プロ キャリア
- 24 こんなにひどい雨では、試合は()。
 中止せざるをえない 中止するには及ばない
 中止するにすぎない 中止しない
- 25 駅までの道順は()、口で説明するのは難しいので、地図を描きましょう。
 やむをえなくて うらやましくて
 うっとうしくて ややこしくて
- 26 最近、うちの会社は儲かっているので、今年になって給料がわずかに()。
 アップした キャッチした
 カットした オーバーした
- 27 その歌手は、今日の大阪でのコンサートを()、いつものように全国ツアーに出かける。
 きっかけに もとに
 皮切りに 契機に
- 28 彼は入社してまだ3年目だが、あっという間に()、今は課長だ。
 上昇して 出世して
 出張して 上級して
- 29 洪水のため、電力の供給が一時的に()。
 コピーした コントロールした
 ストップした ドライブした
- 30 最近疲れ気味だが、今日は体の()がいいので、散歩に出かけるつもりだ。
 情勢 都合
 機嫌 調子
- 31 個性的な彼女は、着ているもの()ふつうの人とは少し違う。
 にしては のわりに
 から言うと からして
- 32 兄は()性格だから、感情に左右されずにいつも合理的に物事を判断する。
 ショックな オートマチックな
 シックな ドライな

- 33 あの二人の間には、意見の()がある。
 すきま すじ
 ずれ すり
- 34 友達が手伝ってくれたおかげで、仕事が()。
 はかどった ちぢんだ
 なおった はかった
- 35 小学生たちが、学外授業で裁判所を()した。
 観光した 鑑賞した
 見学した 進呈した
- 36 日本に10年もいる()、彼はとても日本語が上手だ。
 からといって だけでなく
 からには だけあって
- 37 ひさしぶりに運動したら、後で足がだるくなったので、自分で足を()。
 マッサージした レクリエーションした
 コーチした マスターした
- 38 川に落ちた少年を助けるために川に飛び込んだ彼の行為は()。
 勇気だ 清潔だ
 立法だ 立派だ
- 39 この物語の()を簡単に説明してください。
 みとおし みつもり
 あらし あらすじ
- 40 昨夜から今朝()、日本各地で大雪が降った。
 にかけて にあって
 とかけて にして
- 41 私の質問に対して、彼女は「はい」と言うかわりに、小さく()。
 むけた かたむけた
 うなずいた ふった
- 42 大学の掲示板に、館内禁煙を呼びかける()が貼ってある。
 ポスト ラベル
 ライター ポスター
- 43 この風景画は地面が上にきていて、上下が()になっている。
 あちこち さかさま
 あべこべ さいさん

- 44 あの人はいつも時間に()から、今日も待ち合わせの時間に遅れて来るだろう。
- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ルールだ | <input type="checkbox"/> ユニークだ |
| <input type="checkbox"/> フリーだ | <input type="checkbox"/> ルーズだ |
- 45 講演会に行きたくはないが、ぜひにと頼まれれば()。
- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 行くことはない | <input type="checkbox"/> 行かない |
| <input type="checkbox"/> 行ったことはない | <input type="checkbox"/> 行かないことはない |
- 46 この会社の前途は()。
- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 器用だ | <input type="checkbox"/> 有能だ |
| <input type="checkbox"/> 有望だ | <input type="checkbox"/> 得意だ |
- 47 最近、仕事が忙しくて、()毎日を過ごしている。
- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> あわただしい | <input type="checkbox"/> そそっかしい |
| <input type="checkbox"/> たのもし | <input type="checkbox"/> あつかましい |
- 48 彼女はどんなに大変なときでも、()ひとつ言わずに病人の世話をしている。
- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 語句 | <input type="checkbox"/> 苦難 |
| <input type="checkbox"/> 不評 | <input type="checkbox"/> 愚痴 |